

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 1 月 12 日 (2017.1.12)

【公開番号】特開 2014-105334 (P2014-105334A)

【公開日】平成 26 年 6 月 9 日 (2014.6.9)

【年通号数】公開・登録公報 2014-030

【出願番号】特願 2013-239216 (P2013-239216)

【国際特許分類】

C 0 9 D 11/00 (2014.01)

【F I】

C 0 9 D 11/00

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 11 月 28 日 (2016.11.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

インク媒体と、

任意の着色剤と、

相変化インク組成物の全重量に対して約 0.1 ~ 約 10 重量パーセントの量のエチレン酢酸ビニルと

を含み、

エチレン酢酸ビニルは、酢酸ビニル含有率がエチレン酢酸ビニルの全重量に対して約 1 重量パーセント ~ 約 40 重量パーセントである、相変化インク組成物。

【請求項 2】

エチレン酢酸ビニルは、相変化インク組成物の全重量に対して約 0.5 重量パーセント ~ 約 5 重量パーセントの量で存在する、請求項 1 に記載の相変化インク組成物。

【請求項 3】

エチレン酢酸ビニルは、相変化インク組成物の全重量に対して約 1.5 重量パーセント ~ 約 5 重量パーセントの量で存在する、請求項 1 に記載の相変化インク組成物。

【請求項 4】

エチレン酢酸ビニルは、相変化インク組成物の全重量に対して約 3 重量パーセント ~ 約 5 重量パーセントの量で存在する、請求項 1 に記載の相変化インク組成物。

【請求項 5】

エチレン酢酸ビニルは、平均分子量が約 30000 ~ 約 150000 ダルトンである、請求項 1 に記載の相変化インク。

【請求項 6】

エチレン酢酸ビニルは、融点が約 45 ~ 約 120 である、請求項 1 に記載の相変化インク。

【請求項 7】

エチレン酢酸ビニルは、凝固点が約 25 ~ 約 100 である、請求項 1 に記載の相変化インク。

【請求項 8】

エチレン酢酸ビニルは、粘度が約 150 ~ 約 2000 cps である、請求項 1 に記載の相変化インク。

【請求項 9】

エチレン酢酸ビニルは、約 0.5 パーセント～約 5 パーセントの量で存在し、酢酸ビニル含有率がエチレン酢酸ビニルの全重量に対して約 5～約 13 重量パーセントである、請求項 1 に記載の相変化インク組成物。

【請求項 10】

エチレン酢酸ビニルは、相変化インク組成物の全重量に対して約 5 重量パーセントの量で存在し、酢酸ビニル含有率がエチレン酢酸ビニルの全重量に対して約 25～約 30 パーセントである、請求項 1 に記載の相変化インク組成物。

【請求項 11】

着色剤は染料であり、または、着色剤は顔料である、請求項 1 に記載の相変化インク組成物。

【請求項 12】

インク媒体は、ワックスを含む、請求項 1 に記載の相変化インク組成物。

【請求項 13】

インク媒体は、ポリメチレンワックス、ポリエチレンワックス、生分解性およびコンポスト化可能ワックス、生分解性およびコンポスト化可能ポリエチレンワックス、またはそれらの混合物もしくは組合せを含む、請求項 1 に記載の相変化インク組成物。

【請求項 14】

インク媒体は、相変化インク組成物の全重量に対して約 25 重量パーセント～約 65 重量パーセントの量で相変化インク組成物中に存在する、請求項 1 に記載の相変化インク組成物。

【請求項 15】

インク媒体は、モノアミド、トリアミドもしくはそれらの混合物を含む、請求項 1 に記載の相変化インク組成物。

【請求項 16】

インク媒体は、(a)ステアリルステアルアミド、(b)トリアミドもしくは(c)それらの混合物を含む、請求項 1 に記載の相変化インク組成物。

【請求項 17】

インク媒体は、イソシアネート由来材料、ウレタンイソシアネート由来材料、尿素イソシアネート由来材料、ウレタン/尿素イソシアネート由来材料もしくはそれらの混合物を含み、あるいはインク媒体は、1つまたは複数のアミドと1つまたは複数のイソシアネート由来材料との混合物を含む、請求項 1 に記載の相変化インク組成物。

【請求項 18】

インク媒体と、任意の着色剤と、相変化インク組成物の全重量に対して約 0.1～約 10 重量パーセントの量のエチレン酢酸ビニルとを含む相変化インク組成物をインクジェット印刷装置に導入し、

エチレン酢酸ビニルは、酢酸ビニル含有率がエチレン酢酸ビニルの全重量に対して約 1 重量パーセント～約 40 重量パーセントであり、

インク組成物を溶融させ、および

溶融インクの液滴を画像様パターンで基体上に射出させることを含む方法。

【請求項 19】

インク媒体と、

任意の着色剤と、

相変化インク組成物の全重量に対して約 0.1～約 10 重量パーセントの量のエチレン酢酸ビニルと、

を含み、

エチレン酢酸ビニルは、酢酸ビニル含有率が、エチレン酢酸ビニルの全重量に対して約 1 重量パーセント～約 40 重量パーセントである、相変化インク組成物を含有するインクジェットプリンタスティックまたはペレット。